

エリアウェーブ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2731
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。E-mail:maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp

人権のための講演会報告

峡東地域教育推進連絡協議会

去る11月17日、笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館において、峡東地域教育推進連絡協議会・笛吹市教育委員会等が主催する人権のための講演会が開催されました。講師は認定NPO法人フードバンク山梨理事長・全国フードバンク推進協議会代表の米山けい子氏で、3市教育長、保・幼・小・中・高の教職員・保護者や生徒、行政関係者や勤学院生等が「フードバンク山梨の活動から見える子どもの貧困～子どもの人権を守るために、今、私たちにできること～」と題してのご講演を伺いました。



講演の内容を一部掲載します。

フードバンクとは、安全に食べられる食品（賞味期限内の食品や箱が潰れたりパッケージの文字が薄くなったりして販売できなくなった商品、ご家庭の中にある贈答品、防災品等）を、生活困窮世帯・児童養護施設・障害者施設・高齢者施設等に宅配便でお配りしたり、炊き出しを行ったりして、『勿体ない』を『ありがとう』に変える活動です。

私は以前から、海外の子どもの貧困にとても心を痛めておりました。そしてテレビで見たアメリカのフードバンクの映像が強く心に残り、2008年に仕事を辞めてフードバンク山梨を設立しました。2009年11月の寒い日、1人の女性からの「明日食べる食パン1斤を買うお金がない。フードバンクさん、助けてください。」というお電話をいただき、食のセーフティネット事業を始めました。何年かこの活動をしていくうちに、貧困家庭には何人も子どもがいるということに気づきました。2303人支援したところで調べてみたら、19才以下のお子さんが690人で全体の30%と大変多いことが分かりました。これが子どもへの支援に繋がった理由です。また、お孫さんと暮らしているという方から手紙が何通か届きました。「品物が届きました。当日私は前日から続く偏頭痛で伏せていました。孫は朝から玄関にハンコを用意して待っていました。ここに書くのは恥ずかしいのですが、ここ数年本当に大変な思いをしていました。2年前、1日に豆腐1丁しか食べさせることができない時がありました。体の大きな孫は空腹で眠れずに夜中にふと気付くと台所でボーッと立ちすくんでいました。その姿は、今でも忘れる事ができません。今皆さまにこうして助けていただいて、本当に感謝しています。(祖母と孫の2人暮らし)」という内容です。地域の中に、本当に身近に、食べ物に事欠くお子さんがいるのです。

私どもフードバンク山梨では、今、『賛同から参加へ』と呼びかけを行っております。私の話を聞いていただいて「良い活動だね」と言ってくださる方は多くいます。ただ、賛同だけでは問題の解決にはならないと思います。これからは皆様に『賛同から参加』を合い言葉に、何か行動に移していただきたいと思います。

講演後のアンケートより抜粋

- ・日本でも貧困問題がこんなに沢山問題になっているということを今日改めて知りました。生きていく上で食はとても大切です。今回学んだことをもっと重大に考えて、これから私たちにも何ができるのか考えてみたいと思いました。とても興味深かったです。ありがとうございました。
- ・素晴らしい講演でした。賛同から参加へ。
- ・フードバンク山梨の活動の実際を詳しく知ることができました。現実にこれだけの貧困に苦しむ家庭が山梨にこんなにも多いことに驚きました。何か自分にできることを考えていきたいです。

山梨県では新年を迎えるにあたり、1年を振り返り、1年間無事に過ごせたこと、心身ともに成長したことを家族みんなで喜び合い、互いに感謝の気持ちを持つことの大切さを推奨しています。また青少年が家族や地域の一員として、「他者への思いやり」や「郷土を愛する心」を育み、健やかに成長するために、ぬくもりのある社会を目指して青少年健全育成を呼びかけています。

重点目標 『あいさつ 声かけ 地域の「絆」』

家庭での取り組み

青少年が、自ら考える力を身に付けるとともに、心身ともに健やかに成長していくことができるように家族のふれあいを大切にしましょう。

地域での取り組み

地域は、青少年にとって世代を越えて多くの人たちとふれあうことのできる大切な場所です。互いにあいさつや声かけを実践するとともに、地域住民一人ひとりがお互いを家族のように思いやり、支えあう地域社会を築きましょう。

家読のすすめ

峡東地域教育推進連絡協議会

皆さんは「家読（うちどく）」を知っていますか？山梨県教育委員会では『子どもたちが、自分や他人の生き方・存在を認め合い、自他を敬愛する「しなやかな心の育成」プロジェクト』を推進しています。その中で、読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしてもらおうという試みが「家読」です。本を借りに家族で図書館に行ってみる、本の感想を話し合うなんて良いと思います。先日、笛吹市スコレーセンターで開かれた山梨県図書館大会において、山梨県図書館の阿刀田高館長も「小さい頃、たくさん本を読んだ人はまっすぐ育つ」と話していました。是非皆さんのご家庭でも、「家読」をしてみませんか。



東山梨地区中学生英語暗唱大会

東山梨教育協議会外国語部会 山梨県中学校英語教育研究会

東山梨地区各中学校の2年生と3年生の代表1名が、10月18日（火）山梨市の夢わーく山梨において開催された英語暗唱大会に参加しました。

2年生の暗唱文は「The First American Football in Japan ～The Paul Rusch

Story～」で、3年生は「A Passage to Freedom ～The Sugihara

Story～」でした。参加した生徒はやや緊張な面持ちでしたが、いざステージに立つと自信に

満ちあふれた表情で、日頃の練習の成果を十分発揮しました。なお、1位に輝いたのは2年生の部が塩山中学校の長瀬光さん、3年生の部が勝沼中学校の代永衣さんでした。



県立学校、地域とのふれあい

笛吹高校・桃花台学園

秋晴れに恵まれた11月3日（木）、笛吹高校は日頃の学習成果を地域の方々に知ってもらう「ふれあいフェスタ笛吹」を開催しました。当日は生徒が育てた野菜や果物などを求めて、9時40分開場のところに8時過ぎから行列ができるくらい、地域の方々から期待されている行事だと思いました。また、このフェスタでは販売だけではなく、学習内容の掲示や校舎内の案内・荷物運びでおもてなしの心も伝えていました。



一方高等支援学校桃花台学園は、ダイスキマーケット『秋の大収穫祭』を11月19日（土）に開催しました。朝からあいにくの空模様でしたので、オープニングセレモニーなどが校舎内に変更となりましたが、力強い太鼓部の演奏と開祭宣言に引き続き、農業生産コースでは野菜販売、食品加工コースではお店顔負けのパンの販売、環境メンテナンスコースでは花木の寄せ植えの販売や清掃の実演が行われました。



チャイルドライン研修会

山梨市児童虐待防止ネットワーク

山梨市は園児・児童・生徒の教育に携わる市内関係者を対象に「チャイルドライン研修会」を開きました。前半はこの分野の第一人者である山梨厚生病院小児科池田久剛先生を講師に、『「児童虐待対応と組織連携について」今地域に求められる支援は何か～小児科医の立場から～』という題の講演を聞きました。また後半は現状報告という形で、牧丘支所保健師・笛川小学校・中央児童相談所・峡東保健所・日下部警察署の方々が今取り組んでいることや事例を共有しました。改めて、地域での教育力の必要性を感じた研修会でした。



川邊先生のぷち子育て講座

NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆう

NPO法人 Happy Space ゆうゆうゆうでは10月18日(火)、認定カウンセラーの川邊修作先生をお迎えして『ぷち子育て講座』を開催しました。今回のテーマは「子どもと遊び」。子どもたちは日々の遊びを通してさまざまな能力を伸ばしている、例えば「いない・いない・ばー」の遊びを通して記憶力や予測能力、身体を使う遊びで運動能力、粘土遊びで創造力など…。赤ちゃんにスマホを見せればおとなしくしてくれるから親としては楽だけど、そこには危険が隠れている…といったお話で、参加したお母さんたちは頷きながら聞いていました。



創立30周年記念行事・勸学院祭・生徒募集

山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院は昭和62年に全国に先駆け開校し、今年度をもって30年の節目を迎えました。この間には廃止案も出されましたが、学院生の学びたいという熱い思いに支えられ、7886名の卒業生を輩出しています。10月20日(木)、コラニー文化ホールにおいて後藤知事と守屋学長ご列席の中、創立30周年記念式典が挙行されました。また元荏苒高校・現山梨学院高校サッカー部監督の横森巧先生を講師にお迎えし、「ボールと半世紀を語る」という題目で記念講演が行われました。午後からは6つの教室に在籍する学院生が、この日のために練習を重ねてきた合唱やダンスを披露し、互いに交流を深めました。



また山梨ことぶき勸学院では、「高齢者の新しい絆の創造と地域の活性化に貢献できる人材育成」を目標に、平成29年度入学生を募集します。

【募集要項】

市町村教育委員会、下の出願先にあります。また山梨県のホームページからもダウンロードできます。

【出願期間】

平成29年2月1日(月)～3月3日(金) 土日祝日を除いて午前9時～午後4時まで

【出願先・問い合わせ先】

山梨ことぶき勸学院	甲府市東光寺2-25-1	電話055-233-6947(仙洞田)
峡東教室	甲州市塩山上塩後1239-1	電話0553-20-2731(丸山)
山梨県教育庁社会教育課	甲府市丸の内1-6-1	電話055-223-1773(加藤)

【見学・体験会】

峡東教室では合庁101会議室において、4回の見学・体験会を実施します。お気軽にお越し下さい。

- ①平成29年2月 3日(金) 地域の介護・福祉(地域で支える認知症サポート)
- ②平成29年2月 7日(火) 世界の動き(歴史から今をどう見るのか)
- ③平成29年2月14日(火) 地域の災害と防災(地域の災害に関する史実)
- ④平成29年2月17日(金) 暮らしの経済(最低限身に付けるべき金融リテラシー)

<各回とも午前9時～「朝の会」、午前9時30分～「講義」、午後0時～「帰りの会」となります>

リトルシェフやまなし

奥野田小学校

奥野田小学校では、6年生を対象に、夏休み前から児童が考え始めたメニューをプロのシェフと一緒に作る「リトルシェフやまなし」が行われました。食育を通して、地元の食材の素晴らしさを知ってもらうと同時に、キャリア教育の一環として行われた授業で、自分たちが担当する料理の食材を調べて発表したり、みんなと協力して調理をしたりしました。完成後は全員で試食。みんな、満足感たっぷりの笑顔で舌鼓を打っていました。



峡東地域 小中学校音楽発表会

峡東地域内小中学校

10月13日(木)、笛吹市スコレーセンターにおいて笛吹市小中学校合同音楽会が行われ、合唱に加え、中学校吹奏楽部の演奏も発表されました。ステージ上の児童・生徒はやや緊張の面持ちでしたが、指揮者に合わせて心をつなげた素晴らしい発表でした。もう一つ素晴らしかったのは、発表を聞く時の態度でした。話し声一つ無く、一生懸命聞こうとする態度が、素晴らしい音楽会を作ったと思います。



一方山梨市・甲州市の小中学校は10月27日(木)、甲州市民文化会館において東山梨小中学校音楽発表会を行い、生徒の合唱だけでなく、和太鼓演奏やマーチング、先生方からの歌のプレゼントもありました。また今年4月に開校された笛川小学校の校歌も、児童に先生方も加わって披露されました。ステージ上の皆さんは練習の成果を十分発揮できたと思います。また中学生の皆さんが手際よくステージ準備をしていたのもこの会の成功の要因の一つだと思いました。



甲州子どもフェスタ

甲州市子育て支援課

甲州市は肌寒い11月10日(木)、塩山ふれあい館において第11回甲州子どもフェスタを開催しました。平日ではありましたが、市内外から親子500人ほどが参加し、会場は座る余地が無いくらいの人で賑わい、外の寒さを忘れるくらいでした。会場内にはヘアカット・手形・歯科検診(フッ素コーティング)などのブースが、また外には峡東地域県民センター・警察署・消防署などの展示ブースとはらぺこ食育広場(カレーコーナー)があり、どこも親子の長い行列ができていました。また会場には山梨大学・山梨学院大学・山梨英和大学・塩山高校の学生ボランティアがいて、お母さんに替わって子どもたちの面倒を見ましたので、お母さんたちも友だちとの話に花を咲かせるなど楽しい時間を過ごしていました。



第9回「ふるさと山梨」郷土学習

山梨県教育委員会

山梨県教育委員会では、山梨県の全ての児童・生徒が、郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りをもてるような心情をより豊かに育むための郷土学習を推進し、その一環として10月31日（月）に第9回「ふるさと山梨」郷土学習実践研究発表大会を開催しました。総応募数は2254点で、峡東地域からは小学校低・中学年部門で日下部小2年酒井志帆さん、中学校「林」部門で塩山中2年長澤麻衣さん、「火」部門で山梨南中2年穎川桜子さんがそれぞれ優秀賞（県2位に相当）に輝きました。また、学校奨励賞として神金小・井尻小・山梨南中・山梨北中・笛川中・塩山中・塩山北中・松里中・勝沼中・春日居中・浅川中が表彰されました。



保育サポート講習会

山梨市子育て支援課

山梨市では、「子育てを手助けしてほしい人（利用会員）」と「子育てを手助けしたい人（提供会員）」が会員となり、地域の子育てをお互いに支えあう「ファミリー・サポート・センター事業」を実施しています。具体的にはファミリー・サポート・センターのアドバイザーが「利用会員」と「提供会員」の相互援助活動を連絡・調整する事業です。保育サポート講習会は「提供会員」を養成する講習会で6回に分けて開



催されました。今回は市内の保育園長から、おもちゃ作りとそれに関わる注意事項を学びました。おもちゃの材料は身近で簡単に手に入るペットボトルなどを用いマラカスを作成しました。また、園長先生の今までの経験に基づく「子どもは思いも寄らない行動をします。例えばおもちゃを口に入れたり鼻に入れたり…」という説明があり、参加者はメモを取りながら熱心に受講していました。



自然科学クラブの活動

塩山北小学校

塩山北小自然科学クラブでは、産業技術短期大学から講師を招き、ものづくりを通して「不思議」を楽しむました。11月11日（金）の活動では、「LEDとペットボトルでスノードームをつくろう」をテーマに、講師の土橋先生・関口先生の説明から半導体・電子回路・光の3原色を学びました。児童は3色の光を自由に操りながら、楽しそうに自分好みの色を作り出していました。



笛吹市小学生・中学生俳句会表彰式

笛吹市教育委員会

12月18日（日）、境川総合会館において、第20回笛吹市小学生・中学生俳句会の表彰式が行われました。今年は全国44都道府県の小中学校の児童・生徒36,932人から応募があり、この中から、俳句結社「郭公」および「今」の同人により作品集掲載の2,921句が選ばれ、「郭公」主宰の井上康明氏により、入選作品100句と学校賞が選ばれました。表彰式には秀作以上の入選者が出席し、山下政樹市長らから賞状と記念品が贈られました。

文部科学大臣賞

【小学生の部】『くわがたとじゃんけんしたらぼくのかち』

倉敷市立天城小学校 若本悠太郎さん

【中学生の部】『堂々と一本で立つ百合の花』

可児市立東可児中学校 田口陽香さん





山梨県立ろう学校

校訓 「己に克つ」

本校は県内唯一の聴覚に障害のある幼児児童生徒の教育を行う特別支援学校です。
今年度は幼稚部7名、小学部8名、中学部8名、高等部8名 計31名が在籍しています。

平成16年には、聴覚障害教育のセンター校として「きこえとことばの相談支援センター」を設置し、県内の聴覚に障害のある乳幼児から小中高生及び成人の方を対象として、きこえやことばに関する相談と支援を行っています。支援教育部の乳幼児指導教室では、0歳から2歳児10名が、幼児指導教室では、3歳から5歳児7名が支援を受けています。

支援教育部 ハロウィンの様子



幼稚部 音楽発表会の様子



小学部 晴風園との交流

大根掘りの様子



中学部 春日居中学校との交流

合同強歩大会の様子



高等部 山梨高校の交流

書道部との「書道パフォーマンス」の様子



寄宿舎 愛舎日での清掃活動の様子

